

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年12月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (8.0)	12/7	0	10.9	32.7	0		0	0	0	
		10	11.4	33.5	0		0	0	0	
		20	11.8	33.8	0		0	0	0	
		30	11.8	33.8	0		0	0	0	
厚岸 (2.5)	12/16	0	5.4	33.1	0		0	0	0	
		5	5.9	32.7	0		0	0	0	
		10	6.2	33.1	0		0	0	0	
		13	6.6	33.0	0		0	0	0	
標津 (7.0)	12/20	0	5.1	32.0	0		0	50	10	Dru
		5	5.1	32.1	0		0	10	0	
		10	5.1	32.1	0		0	30	0	
		15	5.1	32.1	0		0	30	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・アキュミナータが根室海峡(標津)で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年12月13日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (5.3)	11/18	0	13.8	32.4	0	0	0	0	
		10	15.2	33.5	0	0	0	0	
		20	15.8	33.7	0	0	0	0	
		30	15.6	33.7	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.5)	12/6	0	4.5	31.4	0	0	90	0	
		3	4.5	31.5	0	0	10	0	
		6	4.9	31.7	0	0	0	0	
		9	5.6	32.0	0	0	40	0	
		12	5.7	32.1	0	0	0	0	
		15	5.8	32.2	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・アキュミナータがサロマ湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年11月29日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.5)	11/15	0	9.3	32.3	0		0	40	10	Di
		10	9.3	32.3	0		0	90	10	Di
標津 (5.0)	11/22	0	10.5	33.3	10		0	0	0	
		5	10.8	33.4	0		0	0	0	
		10	10.9	33.4	0		0	0	0	
		15	10.9	33.5	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータが能取湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年11月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	11/8	0	10.6	29.5	0		0	0	10	Dn
		5	11.8	33.1	0		0	0	0	
		10	11.8	33.2	10		0	0	0	
		13	11.8	33.2	30		0	0	0	
猿払 (-)	11/9	0	12.6	34.0	0		0	0	0	Dru
		10	12.6	34.0	0		0	0	10	
		15	12.6	34.0	0		0	0	0	
		20	12.6	34.0	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・ノルヴェジカが太平洋東部(厚岸湾央)海域で、デイノフィシス・ルジエイが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (17.0)	11/4	0	14.3	33.4	0		0	0	10	Dm
		10	15.1	34.1	0		0	0	0	
		20	15.0	34.2	0		0	0	0	
		30	15.0	34.2	0		0	0	0	
浜益 (17.0)	11/5	0	14.1	32.3	0		0	0	0	
		10	15.6	34.1	0		0	0	0	
		20	15.5	34.1	0		0	0	0	
		30	14.6	34.2	0		0	0	10	
サロマ湖 (4.5)	11/8	0	10.4	31.9	10		10	20	0	
		3	10.3	32.1	10		0	30	0	
		6	10.8	32.2	10		0	0	0	
		9	11.6	32.9	10		0	0	0	
		12	11.5	33.1	0		0	0	0	
		15	11.6	33.3	0		0	0	0	
常呂 (11.0)	11/8	1	8.4	31.9	0		0	140	0	
		10	8.5	32.0	0		0	400	0	
		20	9.1	32.5	0		0	10	0	
		30	9.5	32.8	0		0	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンテイブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。網走中部(常呂)海域ではデイノフィシス・アキュミナータが100細胞/Lを超えて出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年10月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (13.0)	10/13	0	18.2	33.4	0		0	0	0	
		10	18.9	34.2	0		0	0	0	
		20	18.8	34.2	0		0	0	0	
		30	18.8	34.2	0		0	0	0	
能取湖 (7.9)	10/18	0	15.0	33.8	0		0	10	0	
		10	15.0	33.8	0		0	0	0	
江差 (10.3)	10/19	0	17.3	34.0	0		0	0	0	
		10	16.8	34.1	0		0	0	0	
		20	16.4	34.1	0		0	0	0	
		30	16.1	34.2	0		0	0	0	
標津 (7.0)	10/26	0	13.4	33.1	0		0	10	0	
		5	13.5	33.2	0		0	10	0	
		10	13.8	33.4	0		0	0	0	
		15	13.9	33.5	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのデイノフィシス・アキュミナータが能取湖および根室海峡(標津)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年10月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖 (5.8)	10/12	0	16.6	33.8	0		0	0	0	
		3	16.6	33.8	0		0	0	0	
		6	16.6	33.8	0		0	0	0	
		9	16.6	33.8	0		0	30	0	
		12	16.6	33.8	0		0	0	0	
		15	16.6	33.8	0		0	10	0	
常呂 (13.0)	10/12	1	14.0	28.4	0		0	0	0	
		10	14.5	33.5	0		0	20	0	
		20	15.3	33.8	0		0	10	0	
		30	16.0	34.0	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピートゥーコンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのデイノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年10月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (15.5)	9/27	0	21.9	34.2	0		0	0	0	
		10	21.7	34.2	0		0	0	0	
		20	21.6	34.2	0		0	0	0	
		30	17.0	34.4	0		0	0	0	
猿払 (-)	10/5	0	18.5	34.3	0		0	0	0	
		10	18.5	34.3	0		0	0	0	
		15	18.5	34.3	0		0	0	0	
		20	18.5	34.3	0		0	0	0	
標津 (8.5)	10/6	0	16.7	33.5	10		0	0	0	
		5	16.7	33.6	0		10	10	20	Dn, Dru
		10	16.7	33.6	10		10	0	10	Dn
		15	16.8	33.7	20		0	0	0	
厚岸 (3.5)	10/8	0	15.2	31.6	10		0	0	0	
		5	15.0	32.3	0		0	0	0	
		10	14.9	33.3	10		0	0	0	
		13	14.6	33.5	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンが根室海峡(標津)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年9月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	9/6	0	17.9	31.6	10		0	10	0	
		5	17.9	32.0	0		0	0	0	
		10	16.1	32.7	0		0	10	0	
		13	15.7	32.9	0		0	0	0	
浜益 (6.0)	9/16	0	21.5	34.0	0		0	0	20	Dro, Dru
		10	21.4	34.0	0		0	0	10	Dro
		20	21.3	34.0	0		0	0	0	
		30	19.1	34.2	0		0	0	0	
能取湖 (3.5)	9/21	0	18.5	33.9	0	Aa80	0	0	50	Dm
		10	18.4	33.9	0	Aa70	0	0	70	Dru20, Dm50

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主に デイノフィシス・ミトラが能取湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年9月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖 (4.0)	9/15	0	19.2	33.8	0	Aa360	0	0	0	
		3	19.2	33.8	0	Aa130	0	0	10	Dru
		6	19.1	33.8	0	Aa60	0	0	0	
		9	19.1	33.8	0	Aa430	0	0	0	
		12	19.1	33.8	0	Aa170	10	0	10	Dro
		15	19.2	33.9	0	Aa160	0	0	0	
増毛 (22.0)	9/15	0	21.6	34.1	0		0	0	0	
		10	21.6	34.1	0		0	0	10	Dro
		20	21.6	34.1	0		0	0	0	
		30	21.6	34.1	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータおよびデイノフィシス ルジエイが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年9月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (16.0)	9/2	0	21.9	34.0	0		0	0	0	
		10	21.9	34.0	0		0	0	0	
		20	21.9	34.0	0		0	0	0	
		30	21.9	34.1	0		0	0	0	
猿払 (-)	9/7	0	20.3	33.9	0		0	0	0	
		10	20.0	33.9	0		0	0	10	Dro
		15	19.6	33.9	0		0	0	10	Dm
		20	19.5	33.9	0		0	0	10	Dro
常呂 (10.0)	9/10	1	19.8	34.0	0		0	0	0	
		10	19.6	34.0	0		0	0	0	
		20	19.3	34.0	0		0	0	0	
		30	19.1	34.0	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・ロツンダータおよびデイノフィシス・ミトラが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年9月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (7.0)	8/24	0	17.2	33.0	30		10	60	0	Dru
		5	16.1	33.1	30		10	20	10	
		10	14.4	33.7	20		0	10	0	
		15	13.6	33.7	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主に デイノフィシス・アキュミナータが根室海峡(標津)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (14.3)	8/18	0	22.2	34.1	0		0	0	0	
		10	22.2	34.2	0		0	0	0	
		20	21.4	34.2	0		0	0	0	
		30	20.2	34.2	0		0	0	0	
浜益 (12.0)	8/23	0	22.1	34.0	0		0	0	10	Dro
		10	22.0	34.0	0		0	0	0	
		20	21.8	34.0	0		0	0	10	Dru
		30	21.4	33.9	0		0	0	0	
厚岸 (6.5)	8/23	0	17.9	31.6	20		0	10	30	Dro20, Dru10
		5	17.9	32.0	30		0	80	0	
		10	16.1	32.7	20		10	0	10	Dn
		13	15.7	32.9	0		10	0	10	Dn
能取湖 (5.5)	8/24	0	18.8	33.6	0	Aa11580	0	0	0	
		10	17.8	33.8	0	Aa20600	20	170	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主に デイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域および能取湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年8月25日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (9.0)	8/13	0	18.4	33.7	0		0	0	0	
		10	16.8	33.8	0		0	0	10	Dm
		20	16.2	33.8	0		0	0	0	
		30	15.0	33.8	0		0	0	0	
頓別 (-)	8/17	0	18.6	34.1	0		0	0	10	Dro10
		10	17.9	34.2	0		0	0	30	Dro20, Dm10
		20	16.8	34.2	0		0	0	0	
		30	16	34.1	0		0	0	0	
紋別 (15.0)	8/17	0	17.3	33.9	50		0	0	0	
		15	16.5	33.8	0		0	0	0	
		25	15.9	33.8	0		0	0	0	
		41	15.3	33.8	0		0	0	0	
常呂 (11.0)	8/17	2	16.3	33.2	0		0	0	0	
		10	14.2	33.7	0		0	0	0	
		20	14.2	33.8	0		0	0	10	Dru
		30	14.2	33.8	0		0	0	20	Dru
サロマ湖 (4.2)	8/17	0	19.5	33.4	0	Aa90	0	0	10	Dro
		3	19.3	33.3	0	Aa350	0	0	0	
		6	19.1	33.5	0	Aa680	10	0	0	
		9	18.2	33.6	0	Aa180	0	0	0	
		12	18.0	33.7	0	Aa280	0	0	0	
		15	17.4	33.8	0	Aa30	10	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走北部(紋別)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・ロツンダータが宗谷南部(頓別)海域で、デイノフィシス・ルジエイが網走中部(常呂)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2021年8月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
増毛 (19.0)	8/2	0	25.1	33.8	0	0	0	0		
		10	20.6	33.8	0	0	0	0		
		20	18.2	33.9	0	0	0	0		
		30	14.8	33.9	0	0	0	0		
猿払 (-)	8/4	0	18.7	33.9	0	0	0	0		
		10	17.8	33.9	0	10	0	0		
		15	17.7	33.9	0	0	0	0		
		20	17.7	33.9	0	0	0	0		
厚岸 (3.5)	8/6	0	20.5	31.6	60	20	10	0		
		5	15.7	32.4	80	240	280	60	Dro10, Dn40, Dru10	
		10	12.8	32.6	0	160	90	10	Dn	
		13	11.4	32.8	30	30	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロセーテス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affine アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。毒性値の推移にご注意ください。7/23に100細胞/L弱のAtが出現した日本海北部(増毛)海域では、今回出現していません。

太平洋東部(厚岸湾央)海域では、下痢性貝毒プランクトンのデイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが200細胞/Lを超えて出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年8月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
増毛 (19.0)	7/23	0	23.7	33.4	80	0	0	10		Dro
		10	21.6	33.7	20	0	0	0		
		20	17.3	33.9	0	0	0	0		
		30	15.2	33.9	0	20	0	0		
猿払 (-)	7/27	0	20.8	33.8	0	0	0	10		Dro
		10	20.5	33.8	0	0	0	0		
		15	20.5	33.8	0	30	0	10		Dro
		20	20.4	33.7	0	0	0	0		
能取湖 (7.0)	7/29	0	23.5	33.8	10	0	0	0		
		10	19.6	33.7	0	1080	170	0		

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピートコンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが日本海北部(増毛)海域および能取湖で出現しています。日本海北部(増毛)海域では100細胞/L弱のAtが出現しているため、念のため毒性値の推移にご注意ください。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・フォルティが日本海北部(増毛)海域, 宗谷北部(猿払)海域および能取湖で出現しています。能取湖ではデイノフィシス・フォルティが1000細胞/Lを, デイノフィシス・アキュミナータが100細胞/Lを超えて出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年8月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種 細胞/L		
頓別 (-)	7/12	0	14.9	34.2	0	0	0	0		
		10	14.7	34.1	0	20	0	0		
		20	14.4	34.1	0	10	0	0		
		30	13.1	34.1	0	10	0	0		
浜益 (6.0)	7/13	0	16.5	31.9	140	0	0	0		
		10	15.6	32.7	40	0	0	0		
		20	12.9	33.6	0	20	0	0		
		30	12.3	33.8	40	20	0	10	Dru	
能取湖 (7.5)	7/16	0	20.0	33.5	0	0	0	20	Di	
		10	16.3	33.6	0	130	50	20	Dru10, Di10	
紋別 (13.0)	7/19	0	18.9	33.9	0	0	0	0		
		15	18.7	33.9	0	0	0	0		
		25	18.1	33.9	0	0	0	0		
		42	14.8	33.9	0	10	0	10	Dru	
常呂 (13.0)	7/20	0	19.7	33.7	0	0	0	0		
		10	18.4	33.8	0	0	0	0		
		20	18.0	33.5	0	0	0	0		
		30	14.6	33.8	0	0	0	0		
サロマ湖 (9.1)	7/20	0	22.0	33.4	10	0	0	0		
		3	21.1	33.2	0	30	10	30	Dro	
		6	17.6	33.6	0	0	0	0		
		9	16.9	33.6	10	0	10	0		
		12	16.0	33.5	0	0	40	0		
		15	15.1	33.5	0	30	0	30	Dro	
厚岸 (3.5)	7/21	0	20.7	31.1	10	0	0	0		
		5	12.9	32.0	0	0	0	0		
		10	10.6	32.5	0	0	0	0		
		13	9.2	32.7	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが石狩湾(浜益)海域, サロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。石狩湾(浜益)海域では100細胞/Lを超えて出現しているため, 毒性値の推移にご注意ください。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・フォルティが宗谷南部(頓別), 石狩湾(浜益), 網走北部(紋別)海域, 能取湖およびサロマ湖で, デイノフィシス・アキュミナータが能取湖およびサロマ湖で, デイノフィシス・ロツンダータがサロマ湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年7月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (15.5)	7/8	0	19.3	31.4	0		0	0	0	
		10	18.5	34.1	0		0	0	0	
		20	14.1	34.1	0		0	0	0	
		30	8.8	34.1	0		0	0	0	
網走 (11.0)	7/12	0	17.5	33.6	1820		0	0	0	
		10	13.6	33.9	30		10	0	0	
		20	13.3	33.9	20		0	0	0	
		30	12.7	33.9	20		0	0	0	
標津 (7.0)	7/13	0	11.1	32.3	30		0	0	0	
		5	9.9	33.1	20		0	0	0	
		10	8.7	33.2	10		0	0	0	
		15	8.5	33.1	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走南部(網走)海域および根室海峡(標津)で出現しています。網走南部(網走)海域では1000細胞/Lを超えています。毒性値の推移にご注意下さい。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・フォルティが網走南部(網走)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年7月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	7/7	0	13.5	33.8	0		0	0	0	
		10	13.3	33.8	0		0	0	0	
		15	13.3	33.8	0		30	0	0	
		20	13.2	33.8	0		0	0	0	
増毛 (22.0)	7/8	0	18.6	33.6	0		0	0	0	
		10	18.6	33.8	0		0	0	0	
		20	18.2	33.8	0		0	0	10	Dro
		30	14.6	33.9	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・フォルティが宗谷北部(猿払)海域で、デイノフィシス・ロツンダータが日本海北部(増毛)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年7月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.0)	6/24	0	18.4	32.7	0		0	0	0	
		10	13.5	33.3	0		20	0	0	
増毛 (21.0)	6/29	0	18.2	33.6	0		0	0	0	
		10	17.0	33.8	0		0	0	0	
		20	13.4	34.0	0		0	0	0	
		30	11.9	34.2	0		0	0	0	
厚岸 (3.5)	7/1	0	14.6	31.4	10		0	20	0	
		5	12.7	31.7	0		0	10	0	
		10	10.3	32.1	20		0	0	0	
		13	8.8	32.3	10		0	0	0	
サロマ湖 (7.8)	7/6	0	17.2	33.1	0		0	0	0	
		3	17.2	33.1	10		30	20	0	
		6	16.5	33.1	10		10	0	0	
		9	14.9	33.4	0		0	0	0	
		12	14.4	33.5	0		0	0	0	
15	13.1	33.3	0		0	0	0			
常呂 (11.0)	7/6	0	14.1	33.7	0		0	0	0	
		10	13.2	33.7	0		0	0	0	
		20	12.4	33.9	0		0	0	0	
		30	11.8	33.9	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピートゥス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域およびサロマ湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが能取湖, サロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年6月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種		
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
江差 (10.0)	6/21	0	15.6	33.9	0	0	0	0		
		10	15.1	33.9	0	0	0	0		
		20	13.9	34.0	0	0	0	0		
		30	12.3	34.1	0	0	0	0		
サロマ湖 (9.0)	6/21	0	14.2	32.6	0	0	0	0		
		3	14.2	32.6	0	0	0	0		
		6	13.9	33.1	0	0	0	0		
		9	13.3	33.0	0	0	20	0		
		12	11.6	32.9	0	0	0	0		
常呂 (7.0)	6/22	0	13.4	33.3	0	0	0	0		
		10	12.0	33.7	0	0	0	0		
		20	11.9	33.8	0	10	0	0		
		30	11.6	33.8	0	0	0	0		
厚岸 (10.0)	6/22	0	11.2	31.6	0	0	10	0		
		5	9.9	32.3	0	0	60	10		Dn
		10	9.7	32.3	10	0	130	20		Dn
		13	9.2	31.8	30	10	30	0		
標津 (10.0)	6/23	0	12.4	32.0	60	0	0	0		
		5	10.7	32.1	30	0	0	0		
		10	7.1	32.5	0	0	0	0		
		15	5.5	32.6	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)および根室海峡(標津)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年6月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (9.0)	6/14	0	16.5	31.9	0		0	0	0	
		10	15.6	32.7	0		10	30	0	
		20	12.9	33.6	0		10	10	0	
		30	12.3	33.8	0		0	10	0	
増毛 (10.0)	6/15	0	16.0	32.7	0		0	0	0	
		10	14.8	33.7	0		0	0	0	
		20	14.5	33.9	0		0	0	0	
		30	13.3	34.0	0		0	0	0	
猿払 (-)	6/15	0	12.3	33.7	0		0	0	0	
		10	12.3	33.7	0		0	0	0	
		15	12.3	33.7	0		0	0	0	
		20	12.3	33.7	0		0	0	0	
紋別 (10.0)	6/16	0	13.0	33.4	0		0	0	0	
		15	12.5	33.5	0		0	0	0	
		25	11.4	33.7	0		0	0	0	
		37	10.6	33.8	0		0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピートゥス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが石狩湾(浜益)海域および網走北部(紋別)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年6月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.6)	6/10	0	14.9	32.1	0		0	0	0	
		10	10.3	32.7	0		0	0	0	
頓別 (-)	6/11	0	12.4	33.6	0		0	0	0	
		10	12.1	33.6	0		0	0	0	
		20	12.1	33.6	0		30	10	0	
		30	12.1	33.6	0		0	10	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではデイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが宗谷南部(頓別)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年6月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	6/1	0	7.8	33.6	0		0	0	0	
		10	7.7	33.7	0		0	0	0	
		15	7.5	33.7	0		0	0	0	
		20	7.5	33.7	0		0	0	0	
標津 (8.0)	6/3	1	8.6	31.6	10		0	0	0	
		5	7.4	31.9	0		0	70	10	Dru
		10	5.8	32.1	0		0	40	10	Dru
		15	5.7	32.1	0		0	60	0	
サロマ湖 (5.5)	6/7	0	13.6	32.3	0		0	0	0	
		3	10.7	32.1	10		0	20	0	
		6	9.8	32.3	0		0	10	20	Dru10, Dm10
		9	9.6	32.5	0		0	20	0	
		12	9.8	32.7	0		0	10	0	
網走 (5.0)	6/7	0	10.3	33.5	0		0	0	0	
		10	8.9	33.6	0		0	0	0	
		20	8.2	33.7	0		0	10	0	
		30	8.1	33.6	0		0	0	0	
厚岸 (1.5)	6/7	0	14.2	28.7	10		0	0	0	
		5	10.0	31.3	0		0	90	40	Dn30, Dru10
		10	7.7	32.1	10		0	20	10	Dn
		13	6.6	32.3	10		0	0	0	
常呂 (9.0)	6/10	0	11.2	28.6	0		0	0	0	
		10	10.2	33.5	0		0	0	0	
		20	10.2	33.5	0		0	0	0	
		30	10.2	33.5	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖, 根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータ, デイノフィシス・ノルウェジカおよびデイノフィシス・ルジエイがサロマ湖, 根室海峡(標津), 網走南部(網走)海域および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年6月7日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種 細胞/L		
江差 (12.1)	5/18	0	14.8	33.9	0	0	0	0		
		10	14.0	33.8	0	0	0	0		
		20	12.6	33.9	0	0	0	0		
		30	11.3	34.0	0	0	0	0		
浜益 (3.0)	5/20	0	12.7	24.9	0	0	10	0		
		10	9.4	33.1	0	0	10	0		
		20	8.8	33.7	0	0	0	10		Dru
		30	8.2	33.9	0	0	10	0		
増毛 (7.0)	5/21	0	12.4	30.3	0	0	0	0		
		10	11.5	32.2	0	0	0	0		
		20	8.9	33.4	0	0	0	0		
		30	7.9	33.7	0	0	0	0		
能取湖 (6.5)	5/24	0	10.2	31.4	20	0	50	0		
		10	5.0	32.1	0	0	10	0		
厚岸 (2.5)	5/24	0	8.0	30.8	0	0	0	0		
		5	6.8	31.9	10	0	0	0		
		10	6.1	32.2	0	0	0	20		Dn
		13	5.1	32.2	0	0	30	0		
猿払 (-)	5/25	0	8.6	33.3	0	0	0	0		
		10	7.9	33.5	0	0	10	0		
		15	7.5	33.6	0	0	0	10		Dru
		20	7.3	33.6	0	0	10	0		
サロマ湖 (5.0)	5/25	0	10.5	30.8	0	0	10	0		
		3	10.4	30.7	0	0	10	0		
		6	7.5	31.5	0	0	0	0		
		9	6.6	31.7	0	0	0	20		Dru
		12	6.1	31.7	0	0	0	0		
		15	4.6	32.0	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが能取湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ルジエイが石狩湾(浜益), 能取湖, 太平洋東部(厚岸湾央), 宗谷北部(猿払)海域およびサロマ湖で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年5月26日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	5/12	0	6.5	33.5	0		0	60	0	
		10	6.5	33.5	0		0	20	0	
		15	6.5	33.5	0		0	50	0	
		20	6.5	33.5	0		0	30	0	
紋別 (7.0)	5/14	0	2.6	32.3	0		0	40	10	Dru
		15	4.5	33.3	0		0	0	0	
		25	4.6	33.4	0		0	0	10	Dru
		31	4.6	33.4	0		0	0	0	
頓別 (-)	5/17	0	8.0	33.3	0		0	0	0	
		10	7.9	33.4	0		0	0	0	
		20	7.6	33.4	0		0	0	0	
		30	7.2	33.5	0		0	10	10	Dru

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータが宗谷北部(猿払)・南部(頓別)海域, 網走北部(紋別)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年5月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (6.0)	5/5	0	8.1	31.4	0		0	0	0	
		10	7.2	33.8	0		0	0	0	
		20	7.0	33.9	0		0	0	0	
		30	6.8	34.0	0		0	0	0	
厚岸 (2.5)	5/7	0	6.6	30.9	0		0	0	0	
		5	6.0	31.6	10		0	0	0	
		10	4.5	32.2	0		0	0	0	
		13	4.1	32.3	0		0	0	0	
サロマ湖 (4.5)	5/10	0	7.1	30.9	0		0	0	0	
		3	7.1	31.0	0		0	0	0	
		6	7.1	31.0	0		0	0	0	
		9	6.2	31.2	0		0	0	0	
		12	5.9	31.7	0		0	0	0	
		15	5.6	31.8	0		0	0	0	
能取湖 (4.1)	5/10	0	7.4	31.6	0		0	80	0	
		10	5.8	31.8	0		0	70	0	
網走 (5.0)	5/10	0	2.6	32.2	0		0	10	0	
		10	2.1	32.2	0		0	0	0	
		20	3.4	32.9	0		0	10	0	
		30	3.9	32.9	0		0	20	0	
常呂 (5.0)	5/12	0	2.0	32.6	0		0	0	10	Dru
		10	2.1	32.7	0		0	20	10	Dru
		20	2.3	32.9	0		0	0	0	
		30	2.4	33.0	0		0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンデイブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータが能取湖, 網走南部(網走)・中部(常呂)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は, 末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年5月13日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (11.2)	4/23	0	10.0	32.0	0		0	0	0	
		10	9.5	33.9	0		0	10	0	
		20	9.4	33.9	0		0	10	0	
		30	8.7	34.0	0		0	0	0	
増毛 (12.0)	4/24	0	8.6	33.1	0		0	50	0	
		10	7.8	33.6	0		0	90	10	Dc
		20	7.7	33.7	0		0	30	10	Dc
		30	7.1	33.9	0		0	10	0	
能取湖 (5.5)	4/28	0	6.7	32.2	0		0	0	0	
		10	5.4	32.3	0		0	20	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは主にデイノフィシス・アキュミナータが日本海南部(江差)・北部(増毛)海域および能取湖で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年4月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	4/20	0	5.6	33.7	0		0	70	0	
		10	5.6	33.7	0		0	90	0	
		15	5.6	33.7	0		0	130	0	
		20	5.6	33.7	0		0	20	0	
浜益 (3.5)	4/23	0	8.8	33.3	0		0	0	0	
		10	7.8	33.8	0		0	0	0	
		20	7.7	33.9	0		0	0	0	
		30	7.7	33.9	0		0	0	0	
厚岸 (2.5)	4/23	0	4.8	29.7	0		0	0	0	
		5	3.3	32.1	0		0	0	0	
		10	2.3	32.3	0		0	0	0	
		13	1.5	32.7	0		0	0	0	
サロマ湖 (5.8)	4/26	0	5.3	32.2	0		0	0	0	
		3	5.3	32.2	0		0	10	0	
		6	5.3	32.2	0		0	10	0	
		9	5.3	32.2	0		0	0	0	
		12	5.4	32.4	0		0	0	0	
		15	5.2	32.5	0		0	0	0	
常呂 (6.0)	4/28	0	3.9	32.1	0		0	10	0	
		10	3.4	32.6	0		0	10	0	
		20	4.5	32.9	0		0	80	10	Dru
		30	4.5	32.8	0		0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

主に下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが宗谷北部(猿払)海域, サロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年4月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (6.5)	4/12	0	3.8	31.3	0		0	30	0	
		10	3.1	32.3	0		0	10	0	
頓別 (-)	4/13	0	5.8	33.2	0		0	110	0	
		10	5.8	33.2	0		0	180	0	
		20	5.8	33.2	0		0	190	0	
		30	5.8	33.3	0		0	210	0	
猿払 (-)	4/15	0	6.0	32.9	0		0	200	0	
		10	6.0	33.0	0		0	310	0	
		15	6.0	33.0	0		0	170	0	
		20	6.0	33.0	0		0	170	0	
紋別 (1.5)	4/16	0	5.7	33.4	0		0	0	0	
		15	5.7	33.4	0		0	170	0	
		25	5.7	33.5	0		0	30	0	
		40	5.6	33.5	0		0	70	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのデイノフィシス・アキュミナータが能取湖, 宗谷北部(猿払)・南部(頓別)海域および網走北部(紋別)海域で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年4月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (4.0)	4/12	0	3.9	27.5	0	0	10	0	
		10	1.8	32.2	0	0	20	0	
		20	3.0	32.8	0	0	20	0	
		30	3.5	32.9	0	0	10	0	
サロマ湖 (4.5)	4/12	0	5.2	29.6	0	0	20	0	
		3	4.1	30.7	0	0	0	0	
		6	3.6	31.4	0	0	0	0	
		9	3.1	32.1	0	0	0	0	
		12	2.2	32.5	0	0	10	0	
		15	1.5	32.9	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年4月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (4.0)	4/5	0	0.7	32.18	0		0	30	10	Dru
		10	-0.9	32.73	0		0	0	0	
		20	-0.4	32.89	0		0	0	0	
		30	0.0	33.11	0		0	0	0	
厚岸 (2.5)	4/5	0	2.5	30.84	0		0	0	0	
		5	2.2	31.53	0		0	0	0	
		10	1.8	31.88	0		0	0	0	
		13	1.3	32.19	0		0	0	0	
標津 (17.0)	4/7	0	2.5	30.15	0		0	0	0	
		5	1.2	31.15	0		0	0	0	
		10	1.0	31.60	0		0	0	0	
		15	0.8	31.71	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス ルジエイが網走南部(網走)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年3月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	3/9	0	0.4	29.47	0		0	0	0	
		5	0.1	31.84	0		0	0	0	
		10	-0.3	32.13	0		0	0	0	
		13	-0.4	32.22	0		0	0	0	
標津 (17.0)	3/12	0	-0.9	31.78	0		0	0	0	
		5	-1.2	31.84	0		0	0	0	
		10	-1.2	31.84	0		0	0	0	
		15	-1.2	31.84	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年2月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (17.0)	2/15	0	-0.9	31.63	0		0	0	0	
		5	-0.9	31.68	0		0	0	0	
		10	-0.9	31.72	0		0	0	0	
		15	-0.9	31.73	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年2月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	2/1	0	-1.3	31.45	0		0	0	0	
		5	-1.0	31.94	0		0	10	0	
		10	-0.6	32.05	0		0	10	0	
		13	-0.5	32.09	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2021年1月26日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種		備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.5)	1/12	0	-0.3	32.38	0	0	20	0	
		5	0.1	32.53	0	0	0	0	
		10	0.1	32.52	0	0	0	0	
		13	0.1	32.54	0	0	0	0	
標津 (14.0)	1/22	0	0.1	31.75	0	0	0	0	
		5	0.1	31.73	0	0	20	0	
		10	0.1	31.72	0	0	0	0	
		15	0.1	31.72	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾中央)海域および根室海峡(標津)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)